

みんなの活動から

冬休み明けから3月まで楽しく図工を行う子供たちの姿を見ることができました。少しですが、授業の様子をお伝えします。



1年生 すきまちゃんのすきなすきま

隙間が大好きなすきまちゃん。前日には1-1の教室にも遊びにきてくれました。いろいろなところに隠れたすきまちゃんの写真を見て、1年生は大喜び。段ボールの切れ端や隙間テープ、モール、シールを使ってすきまちゃんをつくりました。



つくった後はすきまちゃんが好きそうな場所を探して写真を撮りました。つなげて撮ったり、ちらっと見せたりいろいろな撮り方を考えていました。



2年生 まどをひらいて

授業で初めてカッターナイフを使いました。持ち方や動かし方をしっかり覚えて、練習問題



から挑戦しました。その後、窓が開くような切り方を考えて、たくさんの窓の形を切りました。紙を折って立ててカラフルな建物をつくりました。中に人や動物が回って変化するようにしてみたり、周りに町の様子をつ



くったりするなど楽しみながら町ができていきました。

3年生 くるくるくるりんわーど

割りピンを使って、くるくる回ると面白い世界をつくりました。割りピンで回るようにするには、紙を丸く切って、中心に割りピンをさします。さらに半円を組み合わせて、仕切り



をつくり、区切られた部屋が回ると変化するようにつくりました。水族館や動物園、自分の部屋や好きな動物の部屋など様々な世界ができました。作品ができるとくるくる回しながら変化を楽しんで鑑賞していました。



4年生 ほった線から始まる世界

彫刻刀を使って木を彫って絵を表す木版画に初めて挑戦しました。まずは小さい板を使って、うまく彫れるように何度も練習をしました。彫ったあとの木のかけらが「くるん」と丸まっていればう



まく彫れている証拠です。「くるん」を目指して何度も練習しました。彫れるようになってきたら、いよいよ本番の板に彫ります。動物や乗り物など彫った線から思い付いたことを次々に彫っていきました。紙に刷るインクは好きな色を選んで、グラデーションにしてみたり、何色も変えて刷ってみたりと色にもこだわりました。



5年生 化石はっくつ!



古代の恐竜を思い浮かべながら、化石をつくりました。まずは土台づくりです。黒画用紙をくしゃくしゃにして、土のこぼこをつくり、さらに色をぬりました。化石は板を電動糸のこぎりで切り、その上に紙粘土を貼りました。最後に色を塗って仕上げました。まるで化石を発掘した時のように作品が完成しました。



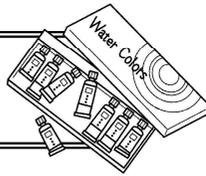
6年生 あの日、あの時

東小での6年間の思い出しながら、メディウムはがしとり版画という技法を使って、絵で表しました。クラフトテープを貼ったボール紙の上にボールペンで溝をつくり、その上にアクリル絵の具を塗って、溝に絵の具を刷り込んでいきます。乾くと透明になる



再度メディウムを塗って紙に貼って、乾かしてゆっくりはがすと、絵がはがれて紙にくっついて完成します。校庭の桜の木やブランコ、運動会の様子など様々な場面を描いていました。アクリル絵の具を刷り込んだときにできるぼやけた感じが、まるで古い写真のように見え、懐かしさを感じさせる作品に仕上がりました。

春休みに確認しよう！



9月からの授業で絵の具をたくさん使いました。中にはもう絵の具が入っていない子もいました。水彩絵の具チェックリストを見ながら、お子様と一緒に絵の具セットの中身を確認してみてください！

絵の具セット チェックリスト



- 用具はそろっていますか？
 - ・絵の具セットケース ・絵の具各色 ・筆（太筆・細筆各2～3本）
 - ・筆入れ ・タオル ・パレット ・筆洗（バケツ）
- すべての用具に名前が書いてありますか？
- 絵の具セット本体の名札はついていませんか？
- 絵の具はしっかり入っていますか？チューブの上のふたは開きますか？
- 筆は穂先がばさばさになっていませんか？
 - ばさばさなら新しいものに替えてください。
- パレットはきれいに洗ってありますか？
- 筆洗（バケツ）から水もれはありませんか？

パレットの汚れは消しゴムで消すときれいになります！

※新2・4・6年生は教科書図画工作下巻を来年度も引き続き使用します。捨てずに保管するようお願いいたします。

作品があふれてしまっ
た！どうしよう！

作品の保管方法

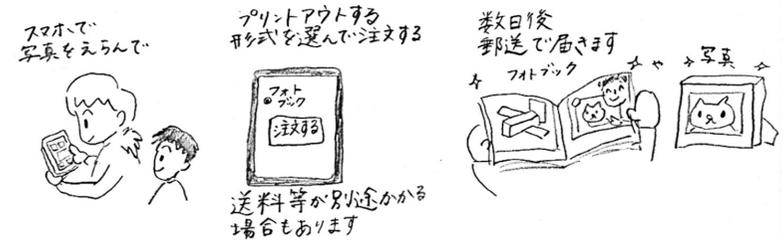
残しておきたい
けど・・・

3月にたくさんの作品を持って帰りました。図工では大きな工作作品もあるので、家に持ち帰っても置いておく場所がないご家庭がほとんどだと思われます。ですが、子供たちが時間をかけて、一生懸命つくった作品なので、どんな形で残してもらえれば、作品とともにお子様の成長の過程が感じられることと思います。こんな風に残してみてもはどうでしょうか。

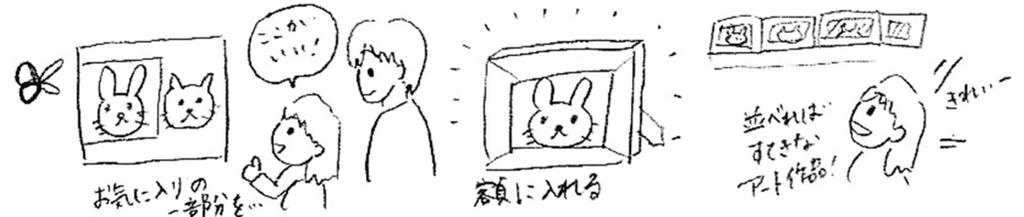
①作品と一緒に写真を撮る。（大きな立体作品など）



②①でとった写真をさらに写真プリントアプリを使って印刷して残しておく。（アルバス：月8枚まで無料、ノハナ：フォトブックが月1冊無料 AppStoreやGooglePlayで検索してみてください）



③作品の中のお気に入りの一部分を、額の大きさに合わせて切り取って、飾る。（平面・立体作品の一部）



ほかに保管する方法として・・・

平面作品などはラミネートしておくとかぶったりせず、長期保管できます。（クレヨンが熱でとけてしまうので注意して下さい。本に貼る用のブックコートフィルムというものもあります。